

報道各社様

以下の行事が行われますので紹介をよろしくお願い致します。

## ～ うきはの春の風物詩 ～

くすもりどう

**楠森堂** 国登録有形文化財『楠森 河北家住宅』

# 三百年の伝統行事 壁結 かべゆい

とき : 3月2日(土) 午前8時作業開始 ～ 午後3時頃終了予定

(※ 小雨決行 荒天時は翌3日(日)に順延の場合あり)

ところ : うきは市浮羽町山北2056 『楠森堂』(国登録有形文化財「楠森 河北家住宅」)

壁結(かべゆい)は、旧正月二十日(近年は三月初め)に行う屋敷を取り巻く竹垣の(約150m)修復作業で、三百年以上続く伝統行事です。

幾重にも立てた真竹を四段の孟宗竹で取り巻いたもので、4年を1サイクルとして、古くなった部分を順次、毎年取り替えていくものです。中世では各地の領主の館や地侍の屋敷では行われていましたが、現在では竹垣を残す屋敷が少なく北部九州で行っているのは当家のみといわれています。

昔ながらの風情を今に伝える歴史的景観と壁結の伝統技法を後世に伝えたいと地元の方々の善意で現在も続いています。

歴史が伝える貴重な体験をぜひ感じていただけたらと思っております。



～『楠森 河北家』～

のどかな田園風景や果樹園が広がる福岡県うきは市浮羽町山北。

日本名水百選の「清水湧水」があるなど、清らかな水に恵まれた自然豊かな地域です。楠森 河北家は、この地で八百年の歴史を刻んできました。江戸時代から大正時代にかけて建てられた屋敷は、国指定文化財に登録されています。

竹垣と楠の森に囲まれ、敷地内に張りめぐらされた水路には毎年初夏になるとたくさんの蛍が飛び交い、幻想的な光景が見られます。

また、近代日本美術史研究の先駆者、美術評論家(故)河北倫明の生家としても知られています。

※会場へは市営無料駐車場ご利用のうえ、徒歩でお越しください。  
駐車場から会場までは400m程の距離がございます。



－ お問い合わせ先 －

楠森堂 くすもりどう (河北幸高)

〒839-1408 福岡県うきは市浮羽町山北 2056

TEL / FAX 0943-77-4019

携帯 090-1081-8816 (河北)

●国の登録有形文化財『楠森 河北家住宅』に関しましてはインターネットでも紹介しております。

・ホームページ

楠森堂

検索

・“うきは市”のホームページから

『観光』⇒「歴史・伝統文化」⇒「楠森 河北家住宅(国の登録有形文化財)」で検索